

第30回 日本サイコオンコロジー学会総会
第23回 日本臨床死生学会総会
合同大会

スポンサードセミナー

開催趣意書

会長 大西 秀樹

(埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科 教授)

【運営事務局】

〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4F
一般社団法人 学会支援機構内

電話：03-5981-6011 FAX：03-5981-6012

jpos30@asas-mail.jp

スポンサードセミナー共催のお願い

謹啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より、本学会への格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、第30回 日本サイコオンコロジー学会総会・第23回 日本臨床死生学会総会 合同大会を、平成29年10月14日（土）・15日（日）の2日間、きゅりあん（品川区立総合区民会館）にて開催する運びとなりました。

がん医療は急速に発展する一方、超高齢化社会を迎えたわが国では、患者もますます増加し、2030年には500万人に達すると予想されます。国が策定しましたがん対策推進基本計画に則り、すべてのがん患者・家族が、安心して最適の治療を受けられるよう、治療に関する適切な情報提供が行われ、治療の選択を支援し、安心して暮らせるよう支援する医療を実現する取り組みが進められています。

私ども一般社団法人日本サイコオンコロジー学会は、がんの告知の支援から、治療方針の決定、治療と一体となった精神心理的ケアの提供、疼痛をはじめとする苦痛を軽減するために拠点病院の緩和ケアチームの推進と技能向上を進め、在宅医との連携を図るべく、会員1,600名（うち医師900名）一体となって、取り組んでまいりました。特に今回は、日本臨床死生学会との合同開催とし、サイコオンコロジーに従事する方々と臨床死生学に従事する方々が力を合わせ、議論を重ねることで多くの新しい知見が得られるのではないかと考えました。今大会のテーマは「死までの生を生きる」としました。私たちの日常は不確実な出来事の連続です。今が明日も続くと思っているのは幻想に過ぎないのかもしれない。しかし、明らかなことが一つあります。それは、私たちは間違いなく死に向かって進んでいるということです。私たちは、さまざまな角度からこのことに向き合い、考えておく必要があるのではないのでしょうか。

総会の運営は簡素でしかも内容の充実したものにしたいと考えておりますが、参加者により多くの最新情報を提供するために、医療関連企業のご協力によるスポンサードセミナーが重要であると考え、その開催を計画しております。貴社におかれましてはスポンサードセミナーの共催をご検討いただければ幸いです。

昨今の厳しい経済情勢の折、誠に恐縮ではございますが、本学会の趣旨をご理解いただき、是非とも貴社のご賛同を賜りますようよろしくお願いいたします。本来ならば参上し、拝眉の上お願いすべきところではございますが、本書面を借りご高配とご援助の程、衷心より重ねてお願い申し上げます。

末筆ながら、貴社の益々のご発展とご繁栄を祈念いたしております。

謹白

平成29年5月吉日

第30回 日本サイコオンコロジー学会総会

第23回 日本臨床死生学会総会 合同大会

会長 大西 秀樹

(埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科 教授)



開催概要

1. 会議の名称

第30回 日本サイコオンコロジー学会総会
第23回 日本臨床死生学会総会 合同大会

2. 主催および責任者

会長 大西 秀樹
(埼玉医科大学国際医療センター 精神腫瘍科 教授)

3. 会 期

平成29年10月14日(土)・15日(日)

4. 会 場

きゅりあん(品川区立総合区民会館)
東京都品川区東大井5-18-1
Tel:03-5479-4100 Fax:03-5479-4110

5. 参加予定者

約1,500名

6. 大会テーマ

死までの生を生きる ～精神腫瘍学・死生学ができること～

7. 会議の内容(予定)

シンポジウム、ワークショップ、特別講演、教育講演、ランチョンセミナー、市民公開講座、一般演題(ポスター発表、口演)ほか

8. 組織委員会(50音順)

委員長:

佐伯 俊昭(埼玉医科大学国際医療センター 包括的がんセンター長)

委員:

新井 学(獨協医科大学越谷病院泌尿器科 准教授)

飯森 眞喜雄(東京医科大学 名誉教授)

石谷 邦彦(東札幌病院 理事長)

五十子 敬子(尚美学園大学総合政策学部 教授)

上村 恵一(市立札幌病院精神科 副医長)

尾崎 恭一(東京薬科大学 教授)

小野 充一(早稲田大学人間科学学術院緩和医療学・臨床死生学 教授)

窪寺 俊之(聖学院大学人間福祉学部こども心理学科長、スピリチュアルケア学 教授)

小山 勇(埼玉医科大学国際医療センター 病院長)

小山 千加代(新潟大学大学院保健学研究科 教授)

酒井 忠昭(特定非営利活動法人 ホームケアエクスペーツ協会 理事長)

佐藤 禮子（関西国際大学保健医療学部看護学科 教授）
清水 哲郎（東京大学大学院人文社会系研究科 上廣死生学・応用倫理講座 特任教授）
高野 利実（虎の門病院臨床腫瘍科 部長）
高橋 孝郎（埼玉医科大学国際医療センター緩和医療科 教授）
張 賢徳（帝京大学医学部附属溝口病院精神神経科 教授）
藤原 恵一（埼玉医科大学国際医療センター婦人科腫瘍科 教授）
古屋 大典（埼玉医科大学国際医療センター総合診療・地域医療科 教授）
別所 正美（埼玉医科大学 学長）
松島 たつ子（ピースハウスホスピス教育研究所 所長）
丸木 清之（埼玉医科大学 理事長）
山口 茂樹（埼玉医科大学国際医療センター消化器外科 教授）

9. セミナー期日・会場・共催費

※ランチョンセミナー（各日、12：30 から約1時間を予定しております）

10月14日（土）

1. 大ホール（第1会場・1,074席）	¥2,000,000（税込）
2. 小ホール（第2会場・282席）	¥2,000,000（税込）
3. イベントホールA+B（第3会場・150席）	¥2,000,000（税込）
4. イベントホールC+D+E（第4会場・240席）	¥2,000,000（税込）

10月15日（日）

1. 大ホール（第1会場・1,074席）	¥2,000,000（税込）
2. 小ホール（第2会場・282席）	¥2,000,000（税込）
3. イベントホールA+B（第3会場・150席）	¥2,000,000（税込）
4. イベントホールC+D+E（第4会場・240席）	¥2,000,000（税込）

※会場レイアウトの都合により席数の増減がございますことを予めご了承下さい。

※各セミナーについては、別途弁当代を実費にてご協力頂きます様お願い申し上げます。

※座長・演者への交通、宿泊の手配、謝礼のお支払いについては、共催企業様に一任致します（上記共催費には含まれておりません）。

※詳細は後日お知らせ申し上げますが、以下の費用は上記共催費に含まれておりません。

共催企業様の実費オプションとなります。

- ・食事代：参加者用弁当およびお茶、演者・座長打ち合わせ食事等
- ・看板・表示物：会場表示看板、氏名掲示（演者・座長）等
- ・追加機材：収録、控室の機材等

10. 申込締切日

平成29年6月30日（金）

11. 収支予算書

最終頁に収支予算書を掲載しておりますので、ご参照をお願い申し上げます。

12. お問合せ・お申込み先

第30回 日本サイコオンコロジー学会総会
第23回 日本臨床死生学会総会 合同大会 運営事務局
〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4F
一般社団法人 学会支援機構内
電話：03-5981-6011 FAX：03-5981-6012
jpos30@asas-mail.jp

13. 振込先

三井住友銀行 大塚支店 (店番：227)
普通預金 2028699
口座名義：日本サイコオンコロジー学会総会 (ニホンサイコオンコゾーガクカイ)

14. 申込方法

同封の用紙にご記入いただき、ファクシミリで上記事務局までご連絡ください。

15. 製薬企業の活動における医療機関等との関係の透明性・信頼性向上のため、医療機関および医療関係者等に対する研究費、寄付、交流等の支出に関する情報を、製薬企業が自社のウェブサイトで公開することに伴い、貴社が当学会に対して行う学会共催費用の支払いに関し、貴社ウェブサイトで公開されることに同意します。

なお、お申込セミナーが重複した場合、日程等をご相談させて頂くこともございますので、あらかじめご了承下さい。

収支予算書

項目	金額(千円)	備考	
収入(A)	参加費(会)	8,000	@10×800名
	参加費(非会員)	7,800	@12×650名
	参加費(学生)	150	@3×50名
	懇親会参加費	500	@5×100名
	プログラム・抄録集販売	400	@2×200冊
	セミナー協賛金	16,000	ランチョン@2,000×8社
	広告協賛金	1,500	表2@200×1社、表3@150×1社、表4@300×1社、後付@70×5社、@50×10社
	寄付金	1,000	
合計(A)	35,350		

項目	金額(千円)	備考	
支出(B)	〔会議準備費〕		
	1. 人件費 事務局員、スタッフ費	2,500	
	2. 委員会開催費	300	
	3. 旅費 交通費	500	
	4. 庁費		
	1) 消耗品費	600	文房具、コピー代、消耗品
	2) 通信費	1,000	電話、FAX料、郵送料 他
	3) 広報費(Webシステム他)	2,500	HP制作、動画制作、管理運用
	4) 印刷製本費	2,500	封筒、チラシ、ポスター等
	5) 業務委託費	3,600	事前準備、データ管理等
	6) 事前登録業務処理費	1,000	1,000名を想定
	〔会議運営費〕		
	1. 演者招請、交通 宿泊費	2,300	講師謝礼含む
	2. 会場費	2,200	きゅりあん(品川区立総合区民会館)
	3. 機材および付帯設備費	5,800	機材、装飾、展示関係費
	4. 印刷製本・発送費	2,800	抄録・プログラム
	5. 会議費	600	懇親会、コーヒーブレイク他
	6. 人件費	3,600	運営スタッフ(受付、会場、PC 他)
	7. 設営撤去及び運搬、清掃	1,200	ポスターパネル、各種看板他
	8. 備品	1,200	表示札、ネームカード、各種印刷物他
	9. 事務運営費	750	運営管理等
	〔事後処理費〕		
	1. 人件費、会計処理費、通信費	400	
	合計(B)	35,350	